

東洋紡製検知紙使用法

本検知紙は神経剤、びらん剤の液体にのみ反応するものであり、ガスは検知困難で、除染が完全に行われたか否かの判定には使用できない。

1. 適応

G 剤（サリン、タブン、ソマン）、V 剤（V X）、H 剤（マスタードガス）を鑑別する。

2. 使用法

- 1)袋を開け、4枚セット（2枚2分割）の小冊子を取り出す。
- 2)台紙から検知紙を引き剥がし、被服や装備品など汚染が疑われる場所に直接接触させる（裏面粘着テープ式）。
- 3)神経剤、びらん剤に接触すると、ほぼ瞬時（5秒以内）に呈色するので、色の变化で以下のように区別できる。
発色点の色と裏表紙の標準発色を比較し、化学剤の種類を判定する。

G 剤（タブン、サリン、ソマン）	黄色（茶色味を帯びた黄色）
V 剤（V X）	暗緑色（黒味が強い）
H 剤（マスタードガス）	赤色

3. 注意

- ・本検知紙は撥水性に欠けるため、水の影響を受けやすい。
このため稀薄な水溶液中の化学剤の検知には使用できない。
- ・さらし粉、水酸化ナトリウム、D S 2、石油製品、不凍液等でも変色し、偽陽性となる。
- ・除染が完全に行われたかどうかのチェックには使用しないこと。